

2018年度 家具部門 10-12月期の不安を解消し景気回復。

2018年に国内外で懸念されている経済状況において家具サプライチェーンの企業は景気回復を記録。

2018年の家具サプライチェーン部門の生産高は426億ユーロに達し、前年同期比で1.8%増を記録。GDPの推定値がゼロに近いイタリア経済の減速は、特にイタリア国外で先行きの不安が懸念されているが、家具部門は2015年から回復し続けている。

家具製造システムの生産高は2%増を記録し、約164億ユーロに達した。生産の51%が輸出向けで、フランスとアメリカが最も多く、ドイツを上回り、2017年に比べ9.6%増を記録した。大型チェーン店の取引が拡大している国内市場も景気回復の兆候が見られ（国内市場は1.8%増）、イタリア国内生産の大きなシェアに加え、輸入品の大部分（輸入5%増）も占めている。

家具のマクロシステムは全体的に安定しており、バスルーム家具 0.5%増、オフィス家具 1%増、照明 0.2%増と、家具マクロシステムの総売上高は274億ユーロを超え、1.9%の成長を見せている。

2018年はまた、欧州連合は、カナダ、メキシコ、メルコスール、日本、アセアン、インドと商業協定を結び、メイド・イン・イタリー製品はヨーロッパの輸出において高い付加価値を得ている。また注目に値するのは、最近、中国との合意に調印したのは、家具サプライチェーン製品のバッグボーンを構成する美しく高品質な製品を誇る大きなマーケットの存在が大きかった。家具サプライチェーン部門の輸出市場で2017年に安定した2桁成長を

Federlegno Arredo Eventi SpA

Ufficio stampa e comunicazione
Foro Buonaparte, 65 • 20121 Milano
Tel +39 02 8060 41
Fax +39 02 8060 4392
press@federlegnoarredo.it
www.federlegnoarredo.it

Reg. impr./C.F. e P.IVA 06987590152
Rea/CCIAA Milano 1130298
cap. soc. € 4.750.000 i.v. da unico socio

記録した中国は、2018年には落ち着きを見せ7位に、EU諸国を除いては米国に次いで2位についた。

家具システムにおいては、巨大アジア市場の中国は4.6%の成長率で5位につけている。成熟した市場は依然として家具サプライチェーンのシェアで優位に立っている。輸出品の約1/5はフランス（1位：約25億ユーロ）とドイツ（2位：18億ユーロ）、続いてイギリス（4位）、スペイン（6位）。非EU市場では1位の米国が3位につき約15億ユーロ（6.2%増）、続いてスイス（5位）、中国（7位）となっている。

ロシアは科せられたペナルティによって依然として不安定な状況が続き、2018年はイタリアの輸出において他部門では景気回復が見られたにも関わらず、家具部門は3.1%減まで後退した。一般的に民間の購買力に依存しているため、政治的緊張やインフレが起こる中で、より柔軟な需要がある家具サプライチェーンの製品は回復できると考えられる。

アメリカは家具業界における主要な輸入国であり、イタリアはヨーロッパの家具サプライヤー部門で第一位を占めている。トランプ政権の国際貿易に対する政策と保護主義的措置は、確かにアメリカ市場における販売動向に影響を与える。（主にアメリカとの貿易がある国々に対する今日の経済。）ポジティブな点は、米国の消費の増加に繋がる積極的な財政政策によって表される可能性がある。

FLA Eventi社プレスオフィス

Andrea Brega – andrea.brega@federlegnoarredo.it 02/80604629

Chiara Sirianni – chiara.sirianni@federlegnoarredo.it 02/80604614